

令和3年度 教育委員会点検評価委員会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和3年8月31日(火) 午後3時00分～午後4時45分

2 場所

市役所別館 3階大ホール

3 点検評価委員

- ・委員 渡邊 美和子
- ・委員 石黒 公一
- ・委員 上林 三千代
- ・委員 宇野 雪江

4 説明出席者

- ・教育長 松本 謙一
- ・教育委員会教育部長 村上 紀道
- ・教育部次長生涯学習スポーツ課長 鶴野 幸男
- ・教育総務課長 氏家 智伸
- ・文化・世界遺産課長 長岡 芳典
- ・こども課長 溝口 早苗
- ・教育総務課主幹 保市 のり子
- ・教育総務課副主幹 鉢呂 清明

5 傍聴者

なし

6 会議の要旨

午後3時00分、教育部長が開会を宣し、議事に入る。

1 開会挨拶（松本教育長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。先日南砺市の学校の先生が富山県迷惑行為等防止条例違反の疑いで現行犯逮捕されるという事案が発生いたしました。最も信頼されるはずの先生がこのような事件を起こしたことは大変残念であり、被害にあわれた方だけでなく子ども達や市民の皆様にも大変申し訳なく思っております。本当に申し訳ありませんでした。今後このようなことがないように全教職員に対し、綱紀粛正及び服務規律の順守を徹底し、南砺市教育行政の信頼を一刻も早く取り戻せるよう学校と協力して全力で努めてまいります。またいろいろところで力をお貸してください。よろしく願いいたします。本日は点検評価ということで委員の皆さまからご意見をいただき、これからの教育行政運営に生かしていきたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

2 出席者紹介

3 告書の説明と質疑・意見

令和2年度事業の概要（計画の体系別）

基本目標「1 豊かな心を育む学校教育の充実」 関係

○宇野委員 まず評価の違いについて、どのような判断でAまたはBと判断したのか。基本施策（1）「自他を尊重し、他を思いやる心の育成」では、①のふるさと学習の推進はあまりよくなかったのかと思うが、全ての取り組みの内の半分がおおむね達成したから評価がAなのか、達成が半分だから評価がBなのかということが分からなかった。もう1点は「オ 今後の取組と改善点」において、評価がAとなったものは今後の取組内容が書いてあり、評価がBとなったものは今後の取組内容に加え改善点が書いてあるとすれば、「オ 今後の取組と改善点」に「主な取組」の項目番号に対応する付番をお願いしたい。また「主な取組」には項目の前に番号があるが、「ウ 点検及び評価」では番号が後ろにきており、読み進めないと対応している項目が分からないため、項目の前に番号があると読みやすい。また「オ 今後の取組と改善点」についても、今後の取組内容と改善点を分けて書いてあると分かりやすい。さらに（2）「確かな学力の育成」については③についての点検及び評価の記述がないこと、28ページにおいて③や④とある番号が違うのではないかという点が気になった。AやBの評価の判断については判断の基準が分かりにくい、特に評価がBとなった場合は、「主な取組」のそれぞれの項目について、改善点をしっかりと書いてあると分かりやすい。

○氏家教育総務課長 「ウ 点検及び評価」については、評価を判断する根拠として「イ 主な指標」がある。あくまで主な指標であって全ての判断ができるものではないが、この主な指標がひとつの判断材料にはなっている。今回の場合、指標がほとんどなかったということもあり、本来であれば「ウ 点検及び評価」において評価の基準が分かるようになっていなければならないが、今回の報告書では分かりにくいということなので、修正したい。Bという評価の判断について、この項目は以前から図書の貸し出し数が指標として非常に低い数値であったということから、評価をBとしていた。今回も指標にはないが依然として図書の貸し出し数が低いということで、状況が変わっていないことから総合的に判断して評価をBとしている。

○宇野委員 私が教員をしていた頃は子どもの評価をしなければならず、なぜ評価をAやBとしたか子どもにも理解させなければ

ばならないため、判断の基準は大切なものであった。今回の点検評価報告書の評価については、指標だけではAやBとする判断ができないため、事業の取り組みについては総合的に評価したということだが、やはり評価の判断基準がしっかりしていないとよく分からないと思う。また、実施できなかったことについては仕方がないが、今後の取組について項目毎に明記してあればよいと思う。

○村上 教育部長 20の施策について評価しているが、主な取組のうち5割を上回っているだとか7割を上回っているだとかという判断基準は無い。このため評価理由が分かりにくいという指摘がある。読書活動が毎年課題となっており改善されていないことから、Bと評価したということであるため、説明や記載の仕方を工夫したい。説明者が説明しないと分かりにくい、数字で一定基準を上回れば高い評価とするというような評価ルールはないということでご覧いただきたい。

○渡 邊 委 員 「ウ 点検及び評価」の項目末尾の番号と「主な取組」の項目番号はリンクしていないのか。

○松 本 教 育 長 「ウ 点検及び評価」の項目末尾の番号と「主な取組」の項目番号はリンクしており、この部分は昨年からの改善点である。ただ、対応している番号が無いものもある。

○宇 野 委 員 対応する改善点の記載が無いものもある。

○松 本 教 育 長 それは全てを記載できないということである。ただ「オ 今後の取組と改善点」についても付番をした方がよいというご意見はその通りだと思うので、修正する。

○宇 野 委 員 番号は項目の前にあった方が分かりやすい。

○松 本 教 育 長 検討する。少なくとも「オ 今後の取組と改善点」について、どの項目に対する改善点なのかということについてはすぐに対応する。

○石 黒 委 員 資料21ページの「14歳の挑戦」について、予算の記載の上に決算額が76千円とあり、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったことは分かるが、現在の状況下ではもう通常の評価ができないと思われる。事業に参加した子供は評価できるが、事業に参加していない子供は評価ができないため、事業の評価に生徒の参加結果が反映されるとなると、基本的には事業の評価はCとなる気がして、今回の事業評価がBとされていることには少し違和感がある。また、令和2年度の達成度や指標が出ているが、前年度や前々年度を踏まえての令和2年度を評価するならば、令和6年度の目標に対し主な指標は「なし」としか記載されていないので、令和元年

度の目標値や実績を記載してその評価理由が明記されていればよいと思う。

- 松本教育長 この部分については、今年から新しく記載したために主な指標が「なし」としかならないが、来年度からは指標の数値の記載ができる。評価のものさしが去年と変わったということでご理解いただきたい。来年この委員会を開催した時には委員のみなさんの意見を反映させた報告書を出す予定とする。
- 石黒委員 今年と来年の新型コロナウイルスの感染状況が変わった場合、例えば前年は新型コロナウイルスの感染防止対策で全く事業が実施できなかったが、評価の明確な基準が無いために今年は事業が実施できたから A 評価だというように感覚で評価していくということか。
- 松本教育長 それは仕方のないことだと思う。ただ私は市内 16 校のうち 1 校でも事業を実施した学校があれば、他市町村の教育委員会では全面的に事業を中止したケースもある中で、南砺市は可能な範囲で実施したことを評価したいという思いはある。もっとも評価のものさしが無いため評価の判断は難しい。
- 渡邊委員 新型コロナウイルス感染対策により実施できなかった事業が多くあるにもかかわらず A という評価となっているのを見ると、新型コロナウイルスの影響により自助努力ではどうにもならなかったということは分かるが、そのような評価でいいのかという思いはある。
- 石黒委員 計画していた事業の実施はできなかったが、それに代わる事業を実施したということがあればまだ理解はできるのだが。
- 渡邊委員 「オ 今後の取組と改善点」に、予定の事業はできなかったがその代わりに力を注いだということがあれば、評価が一致すると思う。
- 上林委員 特殊な事態のため、新型コロナウイルス感染対策により事業の実施状況よりも事業自体の評価で見るとしかないということか。事業の内容によっては新型コロナウイルス感染対策が理由になる場合とならない場合とがあるので評価が難しい。
- 渡邊委員 令和 2 年度は新型コロナウイルスに対する感染対策が初年度であったため、去年は来年どのように評価するのかわかっているのかと思ってこの場にいたが、去年に対して今年の評価はいつまで新型コロナウイルスを理由にするのかとも思うので、評価については工夫が必要ではないか。

基本施策（4）学校教育を支える環境の整備 関係

○上 林 委 員 学校図書館の利用が少ないこと、最近の子どもたちの読書量が少なくなってきたことに対し、市立図書館との連携をされたか。市立図書館では本をあまり読まない人に読んでもらう取組をしていると思うので、子どもたちに本に接する機会をできるだけ増やせば、図書室や図書館に足向けるだろうし、さらに物語を読む楽しさを知れば次の本にも手が伸びると思うので、市立図書館で実施している読書への導入部分に関し、学校で使える部分を活用してみてもどうか。

○氏家教育総務課長 今年度、南砺市立中央図書館の職員1名を吉江中学校へ派遣し、中央図書館のノウハウを学校図書館でも活用できないかということで、今年1年間試験的に実施しているところである。よい結果が得られれば図書館司書派遣の対象校を広げ、学校図書館の貸出数の増加や本を読む楽しさを知ることにつなげていきたいと考えている。

基本目標

「2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進」 関係

○渡 邊 委 員 計画は令和6年度までのため、令和6年度の目標は書いてあるが、各年度の目標は設定していないのか。令和6年度までの目標に対し、各年度で少しでも近づこうというのは理解できるが、6年計画ならば1年目、2年目における目標を設定していないのか。

○鶴野生涯学習スポーツ課長 最終年度までの目標を設定しているが、1年毎の目標は設定していない。

○渡 邊 委 員 先ほどのところでも前年比は来年になれば分かるということであるが、前年より数値が上回らなければならないのはもちろんのこと、1年毎に目指す目標を決め目標との数値の乖離が大きい場合は修正しながら進めていく方法もある。

○松 本 教 育 長 例えばトイレの洋式化率であれば、誰でも進捗状況で想定できるかと思うが、使用率などは新型コロナウイルス感染予防で使用できなかったため数字が上がらなかった。今後、新型コロナウイルスの感染状況がどのようになるか分からないため、令和6年度の目標値をどのようにして設定したか明確な根拠を求められたとしても出しづらい。思い切った数値を目標としたが、今やれることを精一杯やるということが目標の根底にある。毎年人口が減っていくことを考えると、新型コロナウイルスの影響がなければ指標の数値もほとんど横ばいであったとしてもよいのではないかと考えている。

○渡 邊 委 員 事情は分かるが、1年毎の目標を一部でも検討できるなら

ば、来年に向けて検討していただきたい。集中してやればよいものもあれば少しずつ伸ばしていけばよいものもある。事業の性質による違いはあるだろうが、今後見直しできるものがあればお願いしたい。

○村上 教育部長 市の最上位計画である南砺市総合計画の指標では5か年で毎年の計画をきちんと明示しているものもある。ただ教育振興基本計画は、毎年の目標を設定していない。一度にゴールの目標数値を達成することは大変難しく、1年でも早く成果をあげたとすれば行政としても投資効果が得られたと言えるが、目標数値に対する各年度の数値が物足りなければ、我々としてはひとつの判断基準として事業の評価をBまたはCとすることとしているため、来年度以降に毎年の目標を示せるものがあれば、そのことを示した資料作りに努めていきたい。

○渡 邊 委 員 一律にはいかないと思うが考慮していただきたい。

午後4時45分、議事が終了したので教育部長が閉会を宣した。

令和3年8月31日

南砺市教育委員会

教育長